

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 5 区分
【発行日】 令和 7 年 7 月 8 日(2025.7.8)

【国際公開番号】 WO2024/004158
【出願番号】 特願 2024-530221(P2024-530221)
【国際特許分類】
 B 6 4 U 30/10(2023.01)
 B 6 4 U 10/16(2023.01)
【F I】
 B 6 4 U 30/10
 B 6 4 U 10/16

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 6 月 30 日(2025.6.30)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

無人航空機であって、
無人航空機本体と、
上下方向に延びる回転軸を有する複数の回転翼であって、当該複数の回転翼の回転を制御することにより前記無人航空機が水平飛行できるように構成されている、複数の回転翼と、
前記無人航空機本体の上方に設けられ、平面視において、前記複数の回転翼の回転領域の少なくとも一部と重なるように配置された翼体と、
を備える、無人航空機。

30

【請求項 2】

平面視において、前記翼体が前記複数の回転翼の回転領域と重なる領域の合計が、前記翼体の領域の 50% 以下である、
請求項 1 に記載の無人航空機。

【請求項 3】

前記翼体は、幅方向及び前後方向に関して、全ての回転翼の回転領域の内側に位置している、
請求項 1 又は 2 に記載の無人航空機。

【請求項 4】

前記複数の回転翼は、前記無人航空機の後部に設けられた後方回転翼を含み、
前記翼体は、平面視において、前記後方回転翼の回転領域と重ならないような形状である、
請求項 1 又は 2 に記載の無人航空機。

40

【請求項 5】

前記複数の回転翼は、前記無人航空機の前部に設けられた前方回転翼と、前記無人航空機の前後方向中央にもけられた中央回転翼と、前記無人航空機の後部に設けられた後方回転翼を含み、
平面視における前記翼体と前記中央回転翼との重なる領域の合計が、平面視における前記前方回転翼と前記中央回転翼との重なる領域、及び、平面視における前記後方回転翼と前記中央回転翼との重なる領域よりの合計も大きくなるような形状である、

50

請求項 1 又は 2 に記載の無人航空機。

【請求項 6】

前記翼体は、複数のロッドにより前記無人航空機本体の上方に保持されている、

請求項 1 又は 2 に記載の無人航空機。

【請求項 7】

前記翼体は、前縁と後縁とを結ぶ方向が前方に向かって上方に傾斜するように設けられている、

請求項 1 又は 2 に記載の無人航空機。

【請求項 8】

前記翼体は、当該翼体の前記前縁と前記後縁とを結ぶ方向の傾斜角度を変更することができるように設けられている、 10

請求項 7 に記載の無人航空機。

【請求項 9】

前記翼体は、前後方向鉛直断面において、前縁から後縁までの上面の輪郭に沿った距離が、前縁から後縁までの下面の輪郭に沿った距離よりも長くなるように構成されている、

請求項 1 又は 2 に記載の無人航空機。

20

30

40

50